AWS Black Belt Online Seminar



ML Enablement Series (ML-Dark-10)

Amazon SageMaker Canvas

ノーコードではじめる機械学習 → 生成AI

小杉 知己

Professional Services 2023/09

Architect Software 1.0 に必要なソフトウェアアーキテクチャ全体を設計する。

Product Manager 実装すべきソフトウェ ア機能を定義する。

Business **Data Analyst Analyst**

解決すべき データの可 ビジネス上 の問題を定 義する。

視化と分析 で問題を定 量的に特定 する。

DevOps Engineer ソフトウェアの開発・運用プロセスを自動化する。

Software Engineer

ソフトウェアの開発を行う。

Code

Artifact

システム全体の権限管理や監査を行う。

Data Architect データを管理する基盤を設計する。

Domain Expert

T Auditor

あるべき挙 動をデータ を用いて定 義する。 評価尺度を 定義する。

Data Engineer

幾械学習モデ レに入力可能 よデータと特 数を作成する。

ML Scientist

機械学習モデ ルを構築する

Data

Engineer

機械学習モデルを本番環境に

デプロイ可能な形式に変換する。

Operator Operate

Deploy

Service

Service

を行う。ハ

System Admin

サービスを 利用し業務

Software 1.0 のサービスの 挙動を監視

する。

Collect

ML Operator

推論結果に 基づき業務 を行いつつ、 推論結果に フィード バックを

与える。

Model Risk Manager

Software2.0 のサービスの 挙動を監視 する。

ロールの名称 は MLLens を

MLOps Engineer

AI/ML Architect Software2.0に必要なアーキテクチャ全体を設計する。



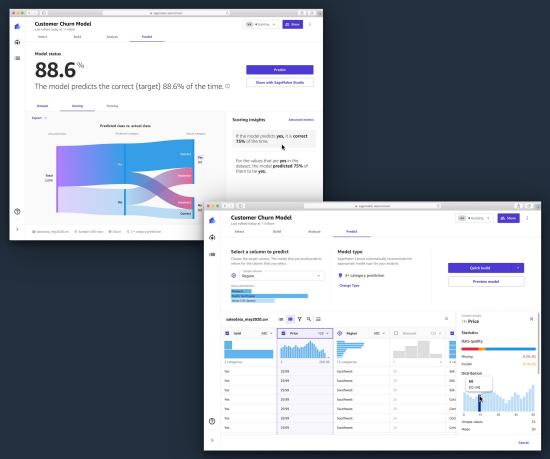
この動画の対象者イメージ

- まだ機械学習の知識・スキルはないけど、業務に機械学習を活用したい!
 - > ビジネスリーダー
 - ▶ ドメインエキスパート
 - ▶ ビジネスアナリスト / データアナリスト
- データ分析・機械学習のワークロードを効率化したい!
 - データサイエンティスト
 - > データエンジニア
 - > 機械学習エンジニア

アジェンダ

- Amazon SageMaker Canvasの使い方・使いどころ
- ビジネス課題へ機械学習を適用するはじめの一歩
- ※ 本動画には生成AIの内容は含んでおりません





GUI上でコーディングなしに実施可能



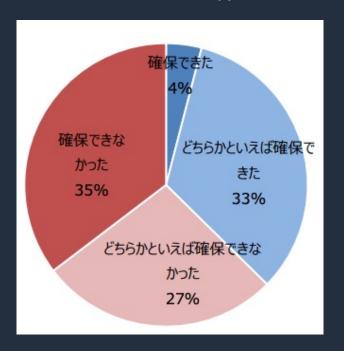
データ活用・機械学習の需要と課題



データサイエンティスト人材の需要

引用:データサイエンティストの採用に関する アンケート(2021年回答) / データサイエンティスト協会

Q. この1年間で、貴社が目標としていた人数の データサイエンティストを確保できましたか。

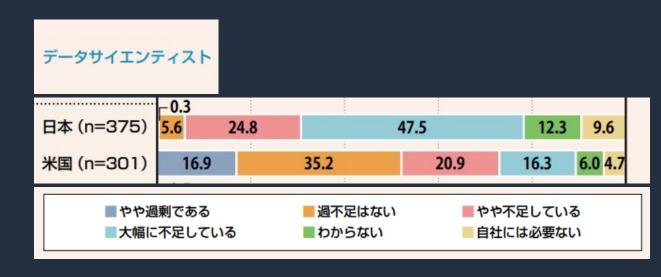


「データサイエンティストを目標通り 確保できなかった」企業が62%

https://www.datascientist.or.jp/common/docs/corporate research2021.pdf

引用: DXを推進する人材の「量」「質」/DX白書2023

Q. デジタル事業に対応する人材の「量」の確保 (職種別)



「データサイエンティストが不足している」72.3%

https://www.ipa.go.jp/publish/wp-dx/gmcbt8000000botk-att/000108041.pdf

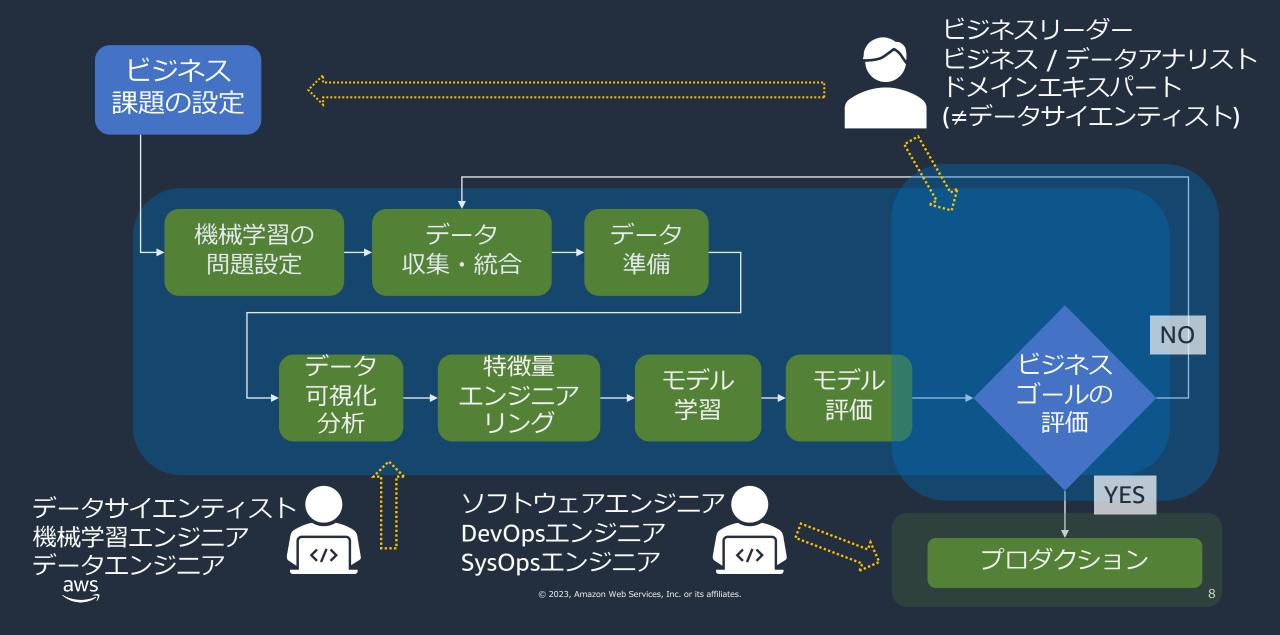


機械学習実用化までの典型的なワークフロー





機械学習実用化までの典型的なワークフロー



機械学習実用化までの典型的なワークフロー

ビジネス 課題の設定



ビジネスリーダー ビジネス / データアナリスト ドメインエキスパート (≠データサイエンティスト)

機械学習の 問題設定 データ 収集・統合 準備

機械学習を実用化するまでには 非常に多くの知識・時間・人的リソースが 必要となる

データサイエンティスト 機械学習エンジニア データエンジニア ソフトウェアエンジニア DevOpsエンジニア SysOpsエンジニア

____↓ プロダクション

こんなお悩みありませんか?

人材不足

データサイエンティストが **足りなくて** 胃がキリキリする...

PoC実装に時間がかかって 美容院に行く暇がない...

時間不足

前処理のやり過ぎで 気づけば夕方



データサイエンティスト Lさん

ビジネスリーダー Mさん

機械学習って難しいんだよね...?

うまくやれるか不安で

夜しか眠れない

スキル不足

aws

s affiliates.

こんなお悩みありませんか?

人材不足



ノーコード機械学習サービスによって ビジネスアナリストに作業を移譲

スキル不足

時間不足



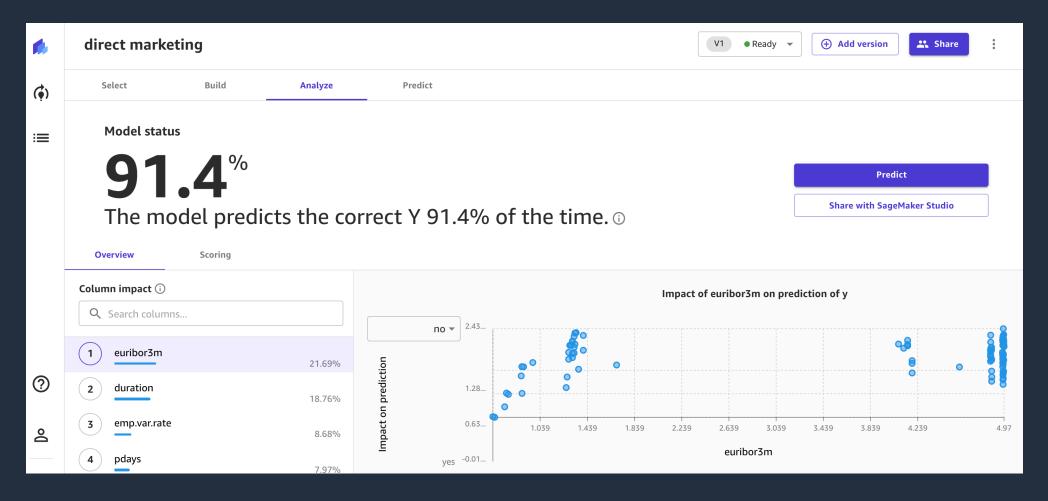
データサイエンティストが ノーコード/ローコードの サービスを活用することで効率化





Amazon SageMaker Canvas 一言でいうなら

機械学習モデルの作成や予測をノーコード・GUIで実行できるサービス





これで誰でもAI/MLできるやんサイコー









機械学習をはじめるその前に

機械学習はあくまで

ビジネス課題を解くための1つの手段にすぎません。

「手段の目的化」に陥っていないかは

常に注意しましょう。

機械学習実用化までの典型的なワークフロー ビジネスリーダー (再掲) ビジネス / データアナリスト ビジネス ドメインエキスパート 課題の設定 (≠データサイエンティスト) データ 機械学習の 準備 問題設定 収集・統合 NO ビジネス 特徴量 モデル モデル ゴールの 可視化 学習 評価 評価 YES データサイエンティスト ソフトウェアエンジニア DevOpsエンジニア 機械学習エンジニア プロダクション SysOpsエンジニア データエンジニア © 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates

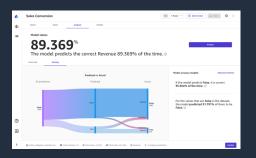




データサイエンティストの 作業を効率化 ビジネスユーザーと データサイエンティストの コラボレーション

・ ビジネスアナリストが業務知識に基づいて機械学習を適用して見込みのあるシーン ユースケースを特定後に、データサイエンティストと共同で検証し本番化









ビジネスアナリスト

SageMaker Canvas で機械学習による解約予測を実施したところ、従来のルールベースの手法より高精度な予測が可能と見込めた。

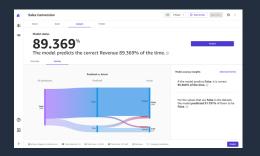
データサイエンティスト

SageMaker Studio で詳しく検証した結果、 現状の運用より KPI 向上すると期待できた。 クーポンを発行するシステムにおいて 従来ロジックから機械学習モデルに変更する。

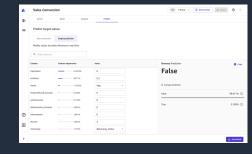


データサイエンティストがモデルを構築、評価し業務適用可能と判断した後、シーン 継続的な再学習や評価をビジネスユーザが実施









データサイエンティスト

SageMaker Canvas で商品の需要予測を実施 して業務適用できそうだと見込めた。 ビジネスの意志決定に使いたい業務部門の メンバーに連携する。

業務部門のメンバー

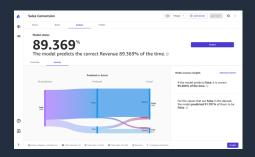
SageMaker Canvas で毎週需要予測を行い、 その予測を参考に商品の仕入れを検討する。



フドメインエキスパートが、SageMaker Canvas でより素早く機械学習のシーン スラインを作成して生産性を向上

金融部門





セールス

顧客に合わせた金融商品を提案するため 顧客が気に入りそうな商品を予測する MLモデルを構築し提案をブラッシュアップ

ライフサイエンス部門





リサーチャー

ライフサイエンスの領域で毎回自分で コードを書いて分析やモデリングを行うと 時間がかかるのでベースラインを作成して 評価に利用

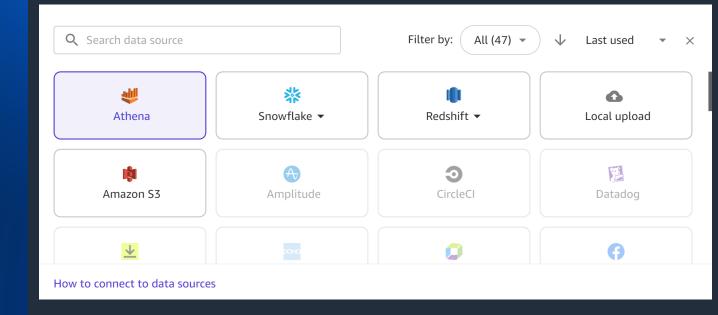


Amazon SageMaker Canvas の機能概要



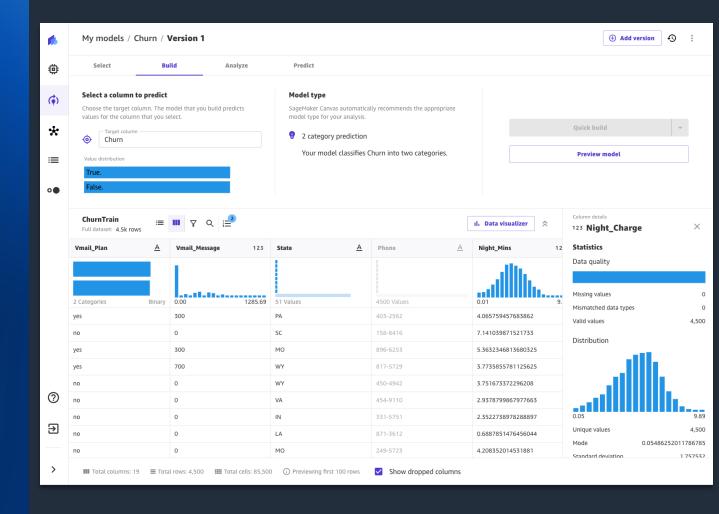
ローカルPCや Amazon S3, Amazon Redshift, Snowflake といった 様々なソースから データを統合可能

3rd party SaaS含めた計45以上の データソースに対応 例) GitHub, Google Ads, Salesforce, SAP Odata, Slack, etc.





データを視覚的に 素早く理解





26

簡単な操作で 自動的に機械学習 モデルを構築 (表形式, 画像, テキ ストに対応)

Create new model

×

Model name

- Model name

New model

Use only letters, numbers, and underscores up to 32 characters.

Problem type

Select the problem type you want the model to solve.



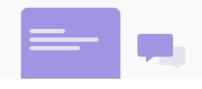
Predictive analysis

Build models using tabular datasets to predict single or multiple categories as well as regression and time-series forecast problems.



Image analysis

Build models using image datasets to predict single or multiple categories for image classification problems.



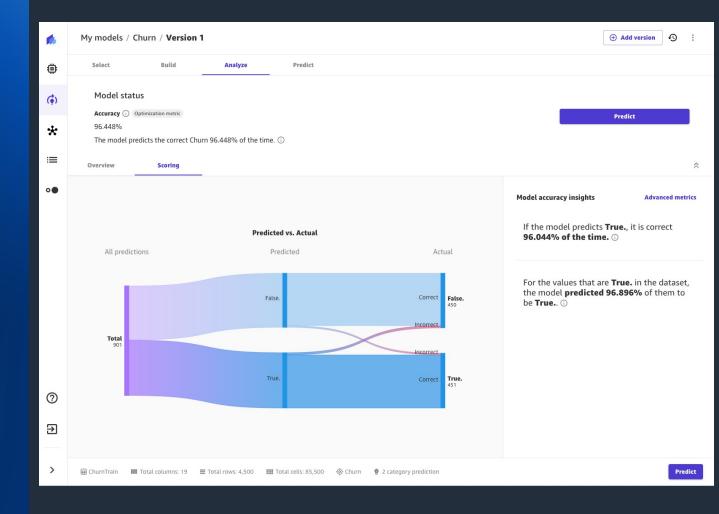
Text analysis

Build models using tabular datasets to predict single or multiple categories for text classification problems.

Cancel

Create

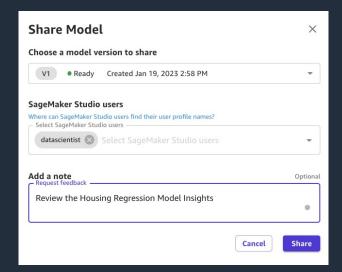
詳しい評価指標で 予測の説明性を理解

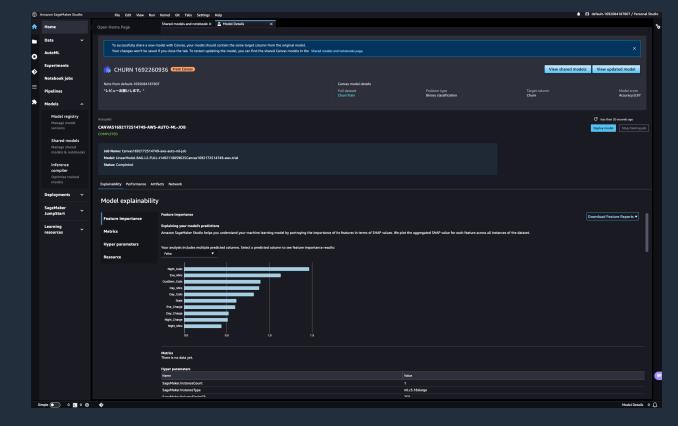




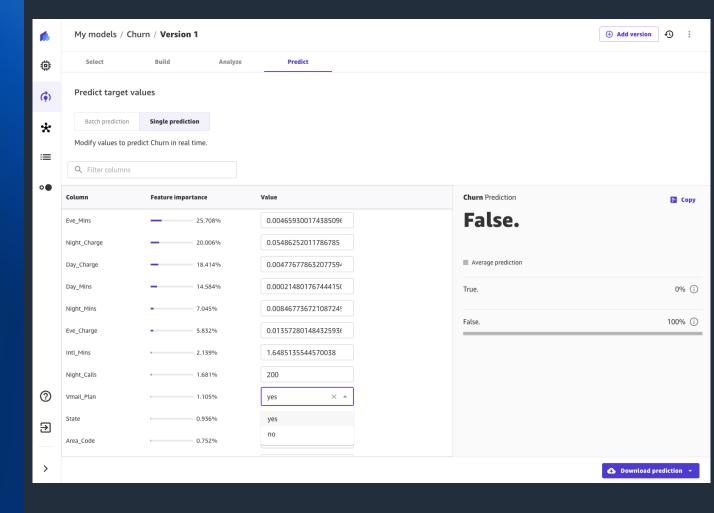
© 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates.

Amazon SageMaker Studioを使用してモデルをデータサイエンティストと共有





バッチ予測や what-ifシナリオ分析



30



© 2023, Amazon Web Services, Inc. or its affiliates.

Amazon SageMaker Canvasの料金体系 概要



セッション料金



トレーニング料金

SageMaker Canvasにログインしている時間に課金 1.9USD / 1時間 ※明示的にログアウトするまで課金 学習データのセル数に応じて課金 最初の1000万セル:30USD / 100万セル (Tabular models)

※ 最新の情報および自然言語処理 (NLP) モデルとコンピュータビジョン (CV) モデルの料金は公式ドキュメントをご確認下さい。



Amazon SageMaker Canvas ユースケース

異なる事業または、業種にまたがる膨大な数のユースケース



セールスとマーケティング

- 1. 販売コンバージョン
- 2. 売上予測
- 3. 顧客の離反傾向
- 4. 顧客の Lifetime Value (LTV) 予測
- 5. Marketing Mix Modeling (MMM) 分析



ファイナンス と会計

- 1. 信用リスクスコアリング
- 2. 支払い遅延予測
- 3. 不正検知
- 4. ポートフォリオ最適化
- 5. 買掛金処理の自動化



オペレーションとロジスティクス

- 1. 需要予測
- 2. 在庫管理とスケジューリング
- 3. 配達時間予測
- 4. 予知保全

その他多数…

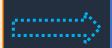


Amazon SageMaker Canvas の使い方(DEMO)

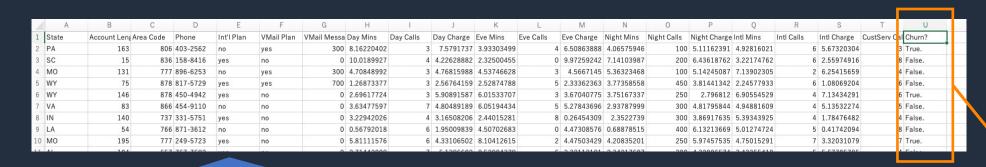


DEMOのシチュエーション

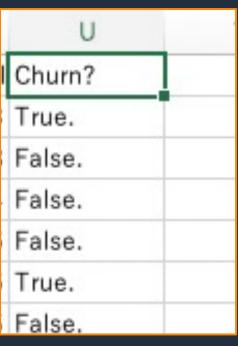
サービスを解約しそうなユーザーに対して キャンペーンなどの施策を実施する



解約しそうなユーザーを 予測できるか試してみる



過去の顧客ユーザーデータから パターンを学習し、新規顧客ユーザー に対する予測をできるようにする 「解約したかどうか」の情報





データ概要

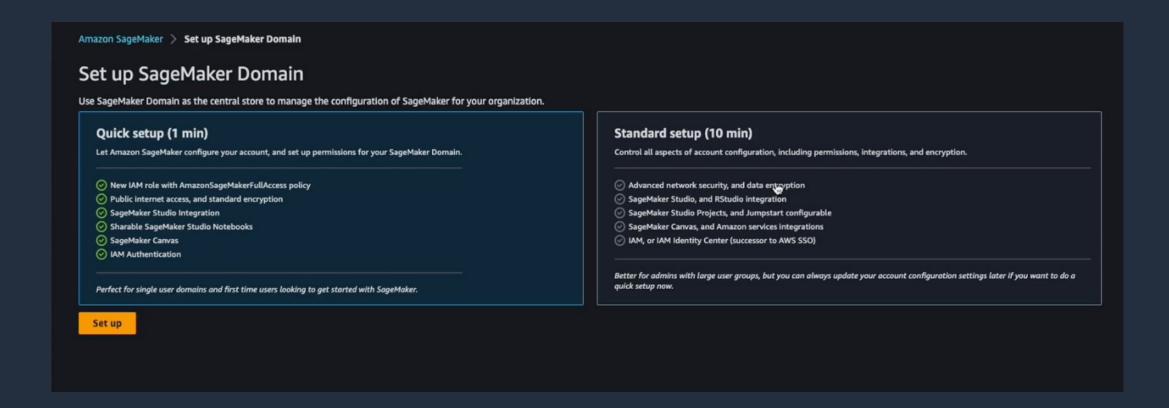
列	備考
State	顧客が居住する米国の州。2文字の略語で示されます。
Area Code	顧客の電話番号の3桁の市外局番
Phone	残りの7桁の電話番号
Day Mins, Day Calls, Day Chage	日中の通話時間、通話件数、請求費用
Eve Mins, Eve Calls, Eve Charge	夕方の通話時間、通話件数、請求費用
Night Mins, Night Calls, Night Charge	夜間の通話時間、通話件数、請求費用
Churn?	顧客が解約したか (true/false)

…その他、全部で21列のCSVデータ

データのリンク: https://sagemaker-sample-files.s3.amazonaws.com/datasets/tabular/synthetic/churn.csv



Amazon SageMaker Canvas 初回セットアップ

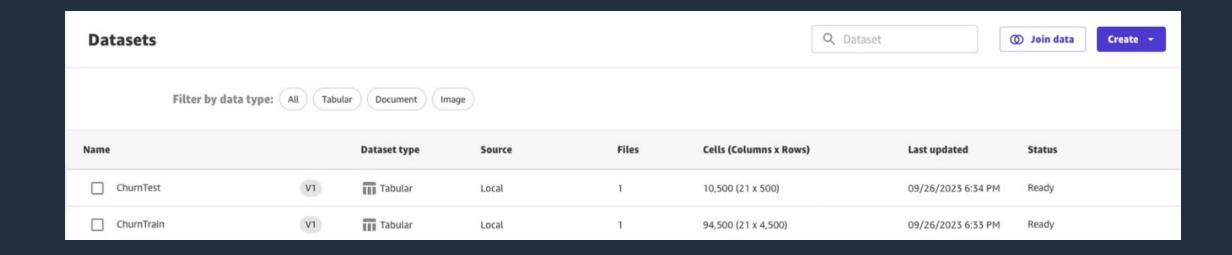




[DEMO] データセットのインポート



[DEMO] データセットのインポート



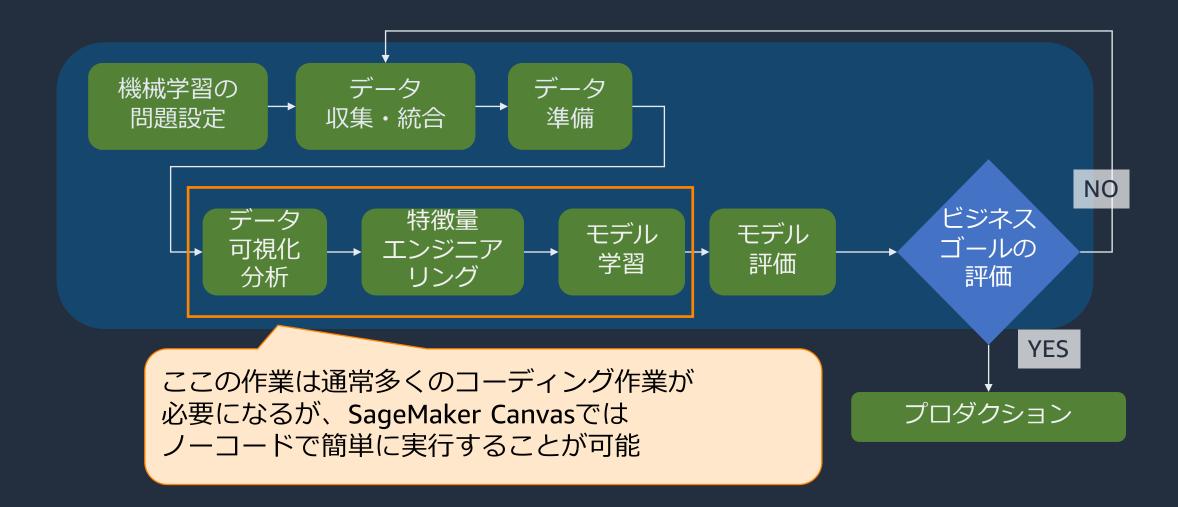
Getting started with using Amazon SageMaker Canvas https://docs.aws.amazon.com/sagemaker/latest/dg/canvas-getting-started.html



[DEMO] モデルの作成



[DEMO] モデルの作成





使ってはいけないデータの例



ユニークな識別子

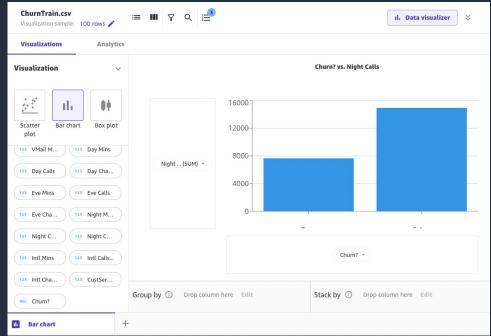
Phoneのような各ユーザを一意に特定できるようなデータを 学習しても未知のデータは予測できないモデルになってしまう

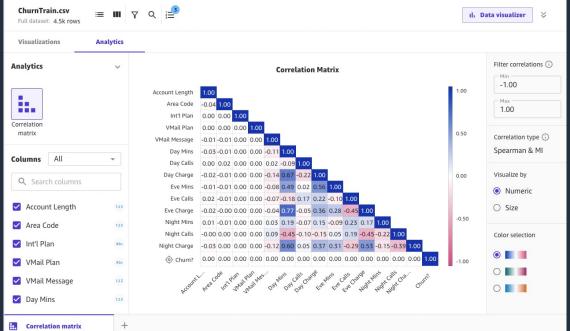


実際の業務で手に入らないデータ 予測実行時よりも未来のデータなど

データの可視化







https://docs.aws.amazon.com/sagemaker/latest/dg/canvas-explore-data.html

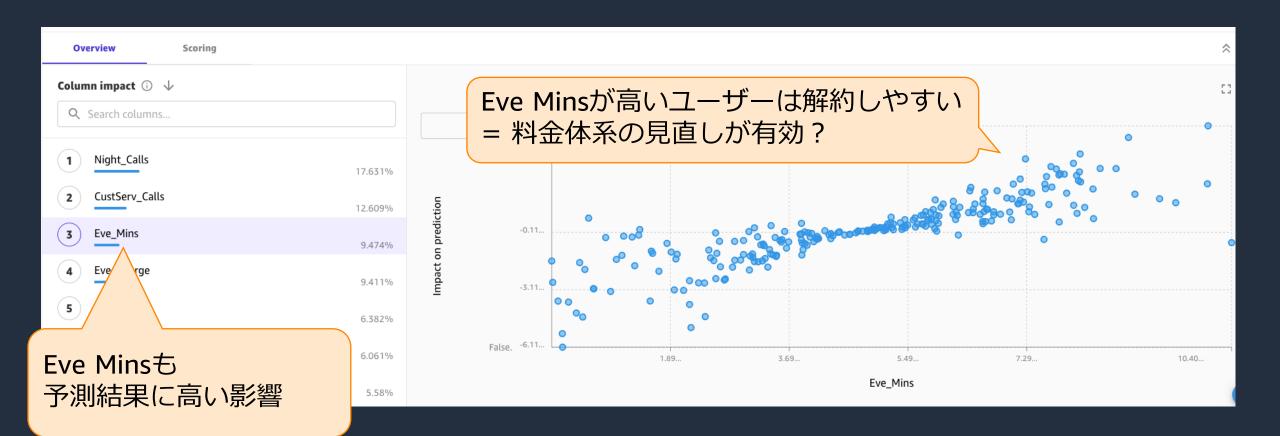


[DEMO] モデルの確認・評価

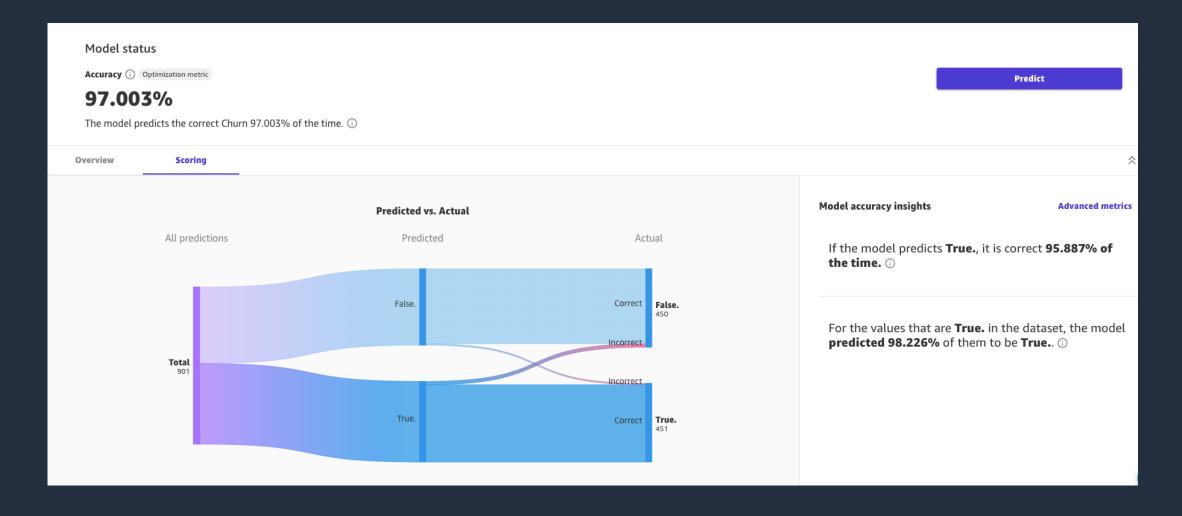


Feature Importance

モデルが解約する/しないを判断するのに使った列の重要度







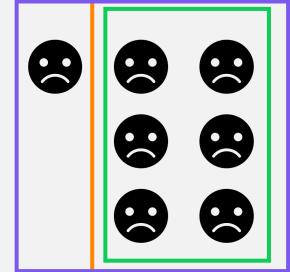




= 95.887



「解約する」と予測



















実際に解約した ユーザー

実際は解約しなかった ユーザー Predict

モデルが「解約する」と予測した結果が 正しく「実際に解約したユーザー」で あった割合は95.887%

Advanced metrics

If the model predicts **True.**, it is correct **95.887% of the time.** \odot

For the values that are **True.** in the dataset, the model **predicted 98.226%** of them to be **True.** ①

モデルが「実際に解約したユーザー」を 取りこぼさず「解約する」と 予測できた割合は98.226%



888888

= 98.226





〓 低っく…



「解約する」と予測

























実際に解約した ユーザー

実際は解約しなかった ユーザー

Predict

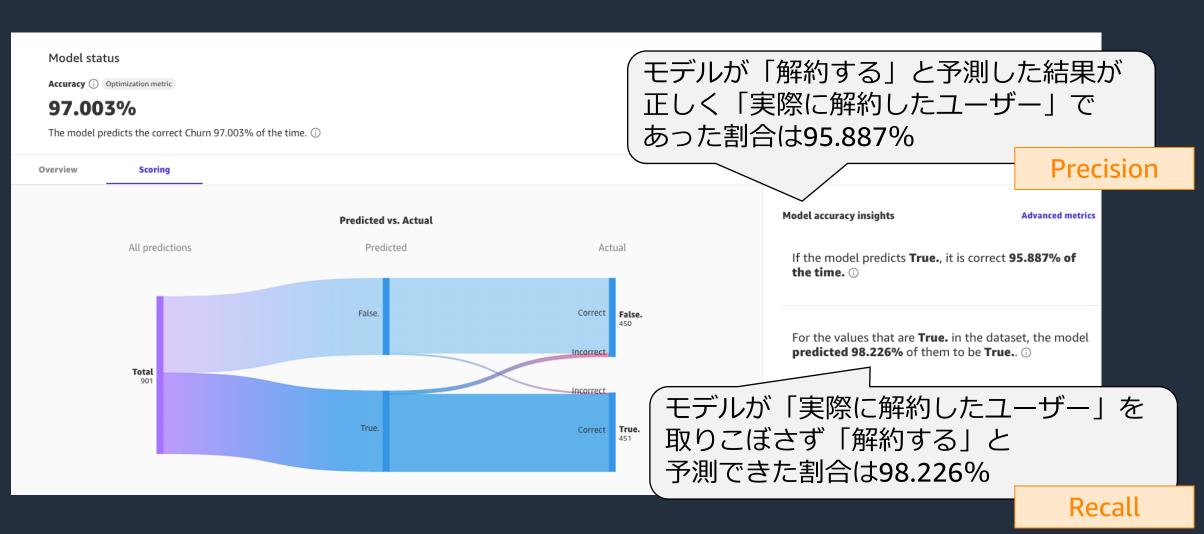
仮にすべてのユーザーを 「解約する」と予測すると…

> For the values that are True. in the dataset, the model predicted 98.226% of them to be True. (1)

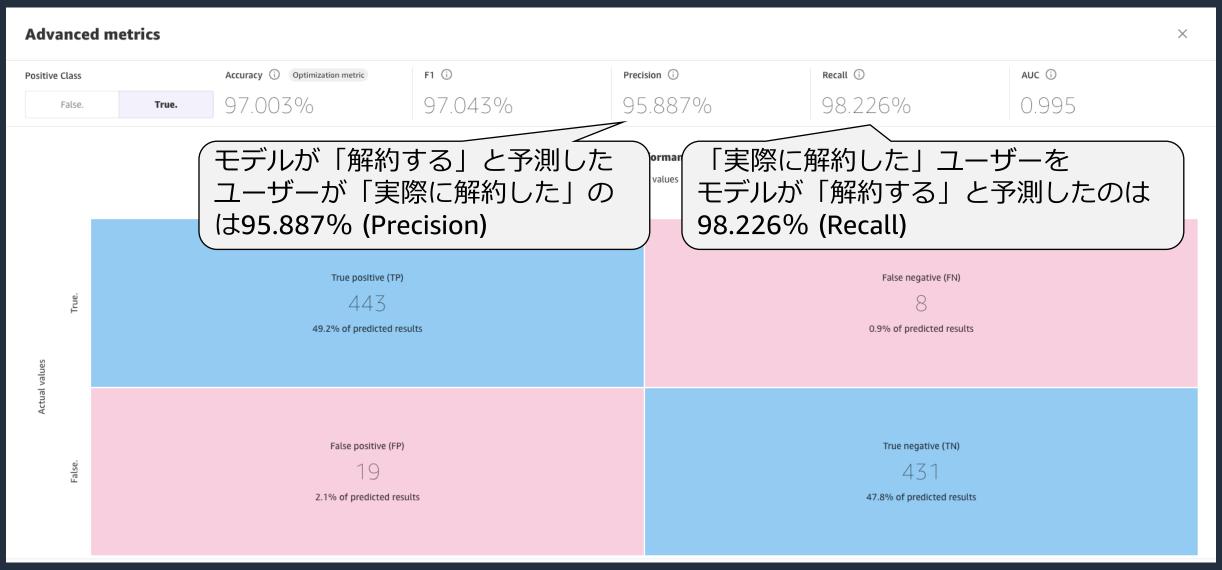
888888

888888

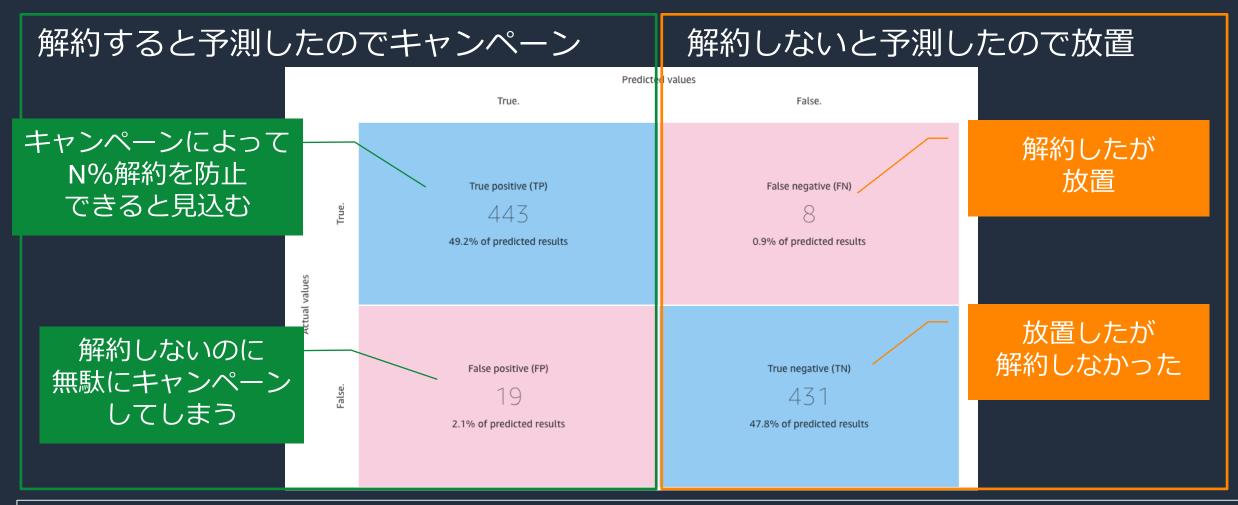
= 100%!!







ビジネスに利用できるかの評価例

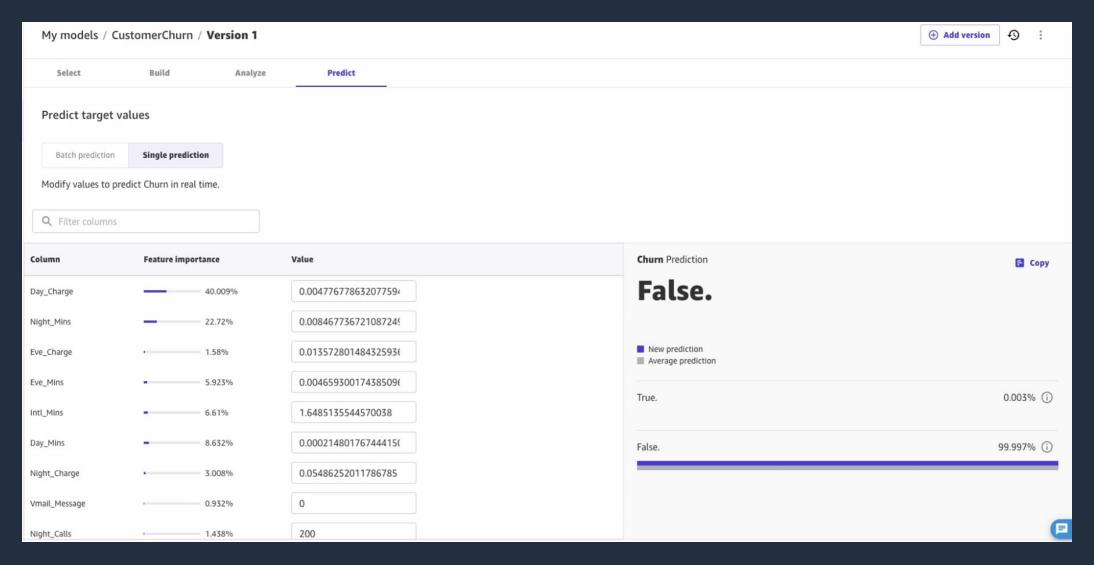


(443 × N% × 解約を防止出来たときの利益) > ((443 + 19) × キャンペーン単価 + システムコスト) を満たす場合はビジネスに導入できそう

[DEMO] 予測の実行



[DEMO] 予測の実行

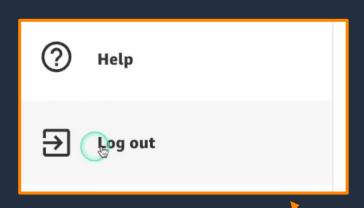




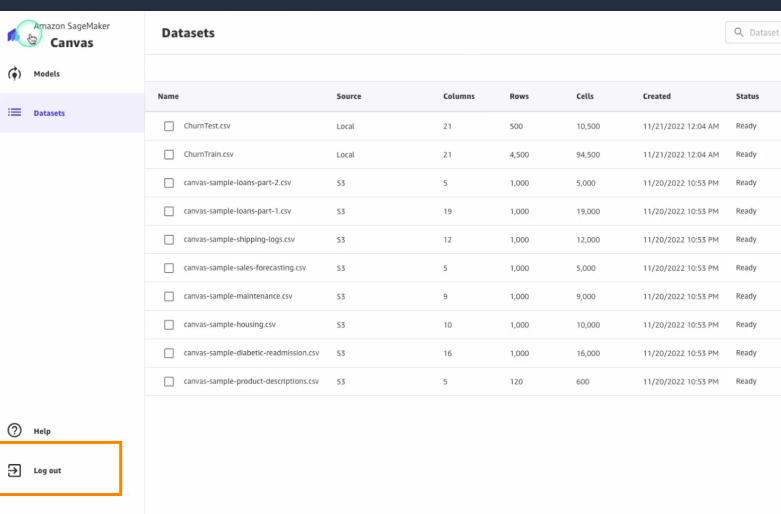
[DEMO] ログアウト



[DEMO] ログアウト



作業終了後は ログアウトを忘れずに!





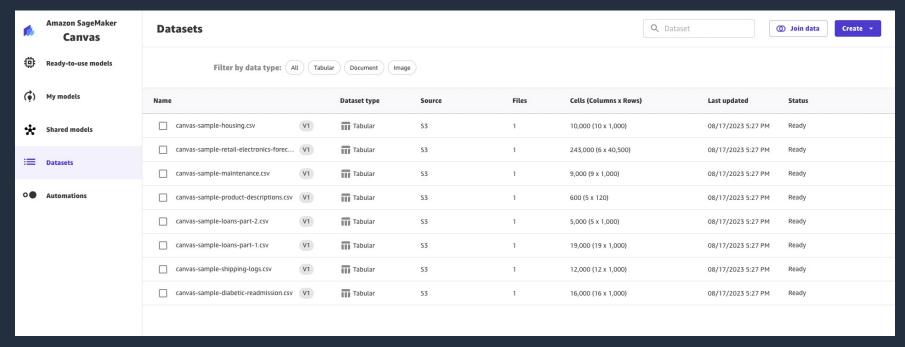
Other Features



サンプルデータセット

いくつかのユースケースを想定したサンプルデータセットがあらかじめ用意されており、すぐに利用できます。

例)住宅価格予測、ローン不履行予測、患者の再入院予測、 売上予測、機械故障予測など



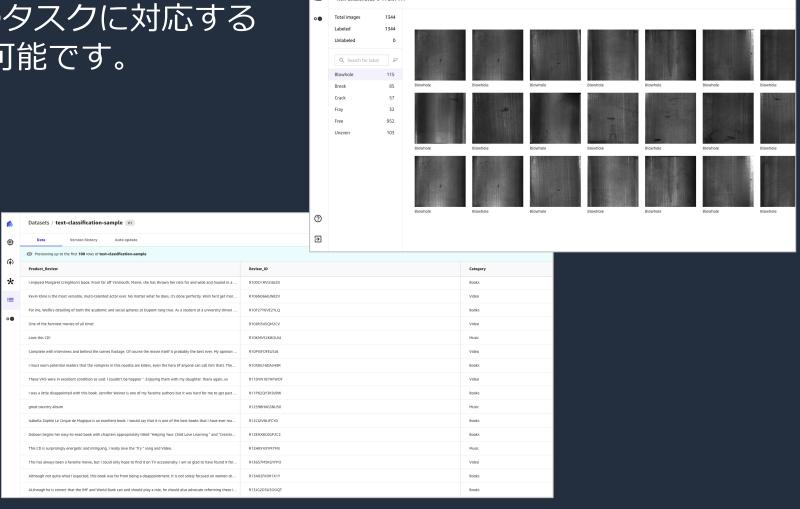
https://docs.aws.amazon.com/sagemaker/latest/dg/canvas-sample-datasets.html



カスタムモデルの種類

2023/9月現在、以下のタスクに対応するカスタムモデル構築が可能です。

- テーブルデータ
 - 二值分類
 - 多値分類
 - 回帰
 - 時系列
- 画像分類
- テキスト分類



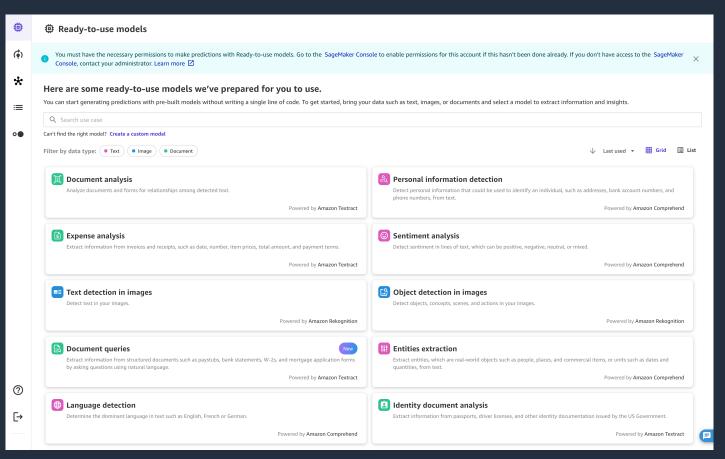
https://docs.aws.amazon.com/sagemaker/latest/dg/canvas-build-model-how-to.html



Your model will predict the one correct label that you want assigned to an image

Ready-to-use models

Amazon SageMaker Canvasのコンソールから すぐに使用できるモデルにアクセスして予測を実行できます。



- センチメント分析
- 言語検出
- エンティティ抽出
- 個人情報検出
- 画像内のオブジェクト・テキストの検出 など



まとめ



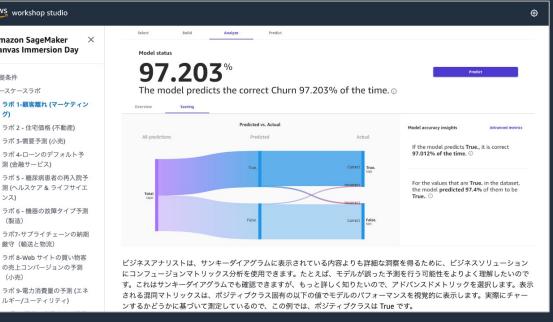
この動画のまとめ

- 機械学習の需要は増えている
 - ▶ 人材の供給が追いついていないという課題
- 機械学習を導入する際に時間と人的リソースを削減するためまずはノーコードのAmazon SageMaker Canvasでクイックに検証をはじめてみる
- 評価と検証を繰り返していく
 - > アナリスト / データサイエンティストのコラボレーション
 - ➤ 必要に応じて他のAWSサービスを利用していく

More Information

- Amazon SageMaker Canvasドキュメント
 - > http://aws.amazon.com/sagemaker/canvas
 - https://docs.aws.amazon.com/sagemaker/latest/dg/canvas.html
- Amazon SageMaker Canvas Immersion Day ワークショップ
 - https://catalog.workshops.aws/canvas-immersion-day/ja-JP







aws workshop studio

Amazon SageMaker

▶前提条件

▼ ユースケースラボ

Canvas Immersion Day

ラボ2-住宅価格(不動産)

ラボ 3-需要予測 (小売)

測 (金融サービス)

厳守 (輸送と物流)

ルギー/ユーティリティ)



Thank you!